

## 2022 年度 事業報告

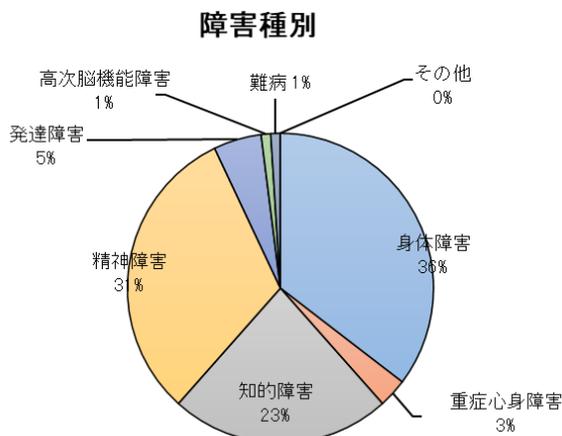
施設名 なかもっち相談室

### 1 利用状況

事業名：指定特定相談支援事業

利用者数 147 名

- ・ 計画作成・更新 151 件
- ・ モニタリング 160 件



### 2 事業実施状況

#### (1) 活動・支援の内容

- ・ 当事業所は、障害種別からも分かるように、身体障害、精神障害、知的障害、発達障害と、障害を問わず多くの方の計画相談に対応している。重度の障害がある方、医療的ケア、多機関がかかわるケースなどにも対応している。
- ・ 今年度、効率的な計画相談実施のため、担当や支援を見直し、必要に応じて他事業所への移管や区外の方の移管をできる範囲で進めた。その結果、利用者数及び実施件数は昨年より下回ったが、必要に応じてサービス担当者会議の開催や、丁寧なアセスメントと定期的なモニタリングを行い、本人の意向に沿った計画作成に努めた。
- ・ 新規利用者に関しては、4 名に留まった。新規の問い合わせを断ることも多く、全体的に計画相談支援事業所の不足を痛感している。一方で、転居、他事業所への移管、就労等により、13 名の方の計画相談を終了している。

### 3 重点課題と取り組み・成果

#### ① 本人主体の計画

→ 計画作成に当たって、ご本人、ご家族のニーズを丁寧に聞き取り、通所先やヘルパー事業所、訪問看護など関係機関との連携・聞き取りを心掛け、ご本人の意向を反映し、目標と課題をわかりやすく表現した。

#### ② 業務の効率化と支援の適正化

→ 定期的に会議を行い、利用者の状況や計画実施状況を共有した。ぽ一との役割分担を明確にし、担当の見直しや区外の方の他事業所への移管を進めるなど業務の効率化を図った。  
今年度当初、常勤の専従を配置して、計画相談実施件数を増やす予定であったが、職員の退職や事務所移転の業務に追われ、目標にしていた実施件数を達成することは出来なかった。

#### ③ 多職種・関係機関との連携

→ 行政、医療、福祉サービス事業所、専門機関などとの連携は定着している。利用者の退院時やサービス更新時に、適宜サービス担当者会議を実施し、スムーズに在宅生活が再開・継続できるよう、情報と支援方針の共有に努めた。